

〔正 解〕 3)

〔解 説〕

投資対象である2資産のリターンの相関係数に応じて、分散投資の効果がどのようになるかを問うています。

相関係数は、 -1 から $+1$ の間の値を取ります。2つの資産のリターンの相関係数が1未満のとき、それらからなるポートフォリオのリスクは、各資産のリスクの組入れ比率による加重平均を下回ります。分散投資の効果は相関係数が -1 のときに最大となり、相関係数が -1 から大きくなるにつれて減少し、相関係数が $+1$ のときゼロになります。つまり、相関係数が1のときポートフォリオのリスクは、各資産のリスクの組入れ比率による加重平均となります。

- 1) 不適切です。相関係数が1のとき、分散投資の効果はなく、均等投資の場合、リスクは2資産のリスクの加重平均になります。
- 2) 不適切である。相関係数が1未満であれば、リスクは2資産のリスクの加重平均よりも小さくなります。それが、分散投資によるリスク低減効果です。
- 3) 適切です。リターンの動きが正反対になるので、リスクの低減効果は最大になります。
- 4) 不適切です。相関係数が0でも、リスクの低減効果はありますが、最大になるのは相関係数が -1 の時です。

[戻る](#)